



発行者 神奈川県土地家屋調査士会川崎支部 支部長 渡部 清一



## 着任のあいさつ

横浜地方法務局  
川崎支局長

神田 亘

神奈川県土地家屋調査士会川崎支部会員の皆様には、日頃から法務行政の適正・円滑な業務の運営に絶大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

私は、本年4月1日付けをもちまして川崎支局長を拝命いたしました神田でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。横浜局の勤務は2度目で、平成23年度に戸籍課長として在籍をさせていただきました。

川崎支部におかれましては、本年が発足60周年を迎えられたとのことで、そのような記念すべき年に川崎支局長の任を務めさせていただけることは、光栄の極みであります。

また、貴会では、様々な活動を取り組まれているとお聞きしており、高校への出前講座や無料相談会の開催などを通じて、地域住民の皆様から厚い信頼を得られ、また、会員同士の親睦を図る活動についても盛んに取り組まれておられるようで、組織内の結束力の強さを感じているところです。

さて、未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から4年が経過しておりますが、被災地では依然として整備が完了しているとは言い難い状況にあります。現時点において復興事業は計画の策定の段階から、土地の取得や建物の建築へと進んできており、今後は大幅な登記申請の増加が見込まれるところであり、加えて、地図の整備や修正作業についても、優先して行わなければならない状況にあり、全国法務局職員が一丸となって支援をしております。

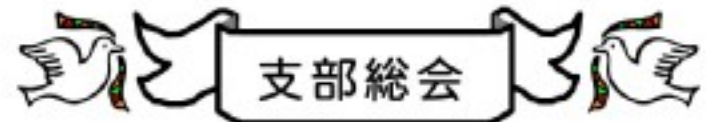
また、神奈川県内の登記事件の推移としましては、景気回復が叫ばれている中であって、大幅な事件増を期待したいところではありますが、平成26年度は前年をやや下回る事件処理状況となっておりますものの、相変わらず高水準な出件状況にあります。

こうした状況下であって、表示に係る登記については、権利の主体となる不動産を現地で特定するための根幹をなすものとして、複雑化する社会の変革

等を的確に捉え、真実を記録することが求められており、私たちは、利用者の要請に応えながら適正・迅速な処理をしていかなければなりません。

横浜地方法務局では、平成27年度についても、「信頼され進展する法務局づくり」を目指して取り組みを進めていくこととしており、当川崎支局でも、時代の要請に適切した事務処理を行って参りたいと考えております。そのためには、皆様方の引き続きの御協力が不可欠でありますので、今後とも、よろしくお願いたします。

結びに当たり、神奈川県土地家屋調査士会川崎支部の御発展と、会員各位の御健勝を祈念申しあげ、着任の挨拶とさせていただきます。



### 第60回 川崎支部総会開催

|     |               |     |
|-----|---------------|-----|
| 日 時 | 平成27年5月14日(木) |     |
|     | 午後2時00分～4時30分 |     |
| 場 所 | ホテル KSP       |     |
|     | 現在会員数         | 99名 |
|     | 出席会員数         | 53名 |
|     | 委任状提出者        | 43名 |
|     | 欠席会員数         | 3名  |

以下式次第により総会は運営された。

1. 開会の辞(小西行長副支部長)
2. 支部長挨拶
3. 来賓紹介  
横浜地方法務局川崎支局 神田 亘 支局長  
神奈川県土地家屋調査士会 岩倉弘和 会長  
神奈川県土地家屋士政治連盟 福本正幸 会長
4. 来賓祝辞
5. 新入会員紹介
6. 正副議長選出  
(議長 阿部光男会員、副議長 門田英之会員)